

平成 29 年 6 月 14 日
消防局 警防部 警防課
電話 202-1651

千葉市政担当記者 様

震災対応訓練を実施しました。
～大規模地震発生に備え消防団との更なる連携強化へ～

本年 4 月に政府の地震調査委員会が発表した今後 30 年以内に震度 6 弱以上の揺れに襲われる確率を示した「全国地震動予測地図 2017 年版」において、都道府県庁所在地における発生確率が、昨年に引き続き千葉市が最も高い 85%とされました。

また、今後発生が懸念されている首都直下地震や千葉県東方沖地震では、都市部における地震特性から多発火災や建物の倒壊等の被害が予想されており、発災時には一刻も早い消防・救助活動が求められるところです。

千葉市消防局では、これら大規模地震が発生した場合における消防即応体制の更なる充実強化を図るため、千葉市直下で地震が発生したことを想定した震災対応訓練を実施しましたのでお知らせします。

1 実施日時

平成 29 年 6 月 10 日（土） 6:00～10:00

2 実施場所

- (1) 消防対策本部の設置 消防局 7 階作戦室及び消防局各課
- (2) 方面指揮本部の設置 各消防署

3 実施機関

- (1) 千葉市消防局
- (2) 千葉市消防団

4 訓練想定及び内容

(1) 訓練想定

千葉市直下を震源とした震度 6 強の地震が発生し、市内には建物倒壊及び火災等による甚大な被害が発生している。

(2) 訓練内容

ア 非常招集訓練

発災直後からの情報伝達、参集、参集報告、参集集計までの一連の訓練を実施した。
なお、参集手段は、徒歩、自転車又はバイクにより実施した。

イ 図上訓練

消防局・消防署・消防団の効果的な運用をはじめ、各本部の体制機能を検証し、更なる消防即応体制の充実強化を図るため、各本部としての活動を実践的に実施させるロールプレイング方式（ブラインド型）の訓練を実施した。

ウ 実動訓練

図上訓練とリンクした実動訓練として、方面本部の出動命令により実際に消防団を出動させ、消防・救助訓練を実施した。

5 訓練参加者及び参集状況

(1) 訓練参加者

- ア 消防職員 890人
- イ 消防団員 243人

(2) 参集状況（消防職員のみ）

	勤務中 人員	0.5h 以内	1h 以内	1.5h 以内	2h 以内	3h 以内	4h 以内
人数（人）	277	381	635	802	868	887	890
参集率（%）	—	42.8	71.3	90.1	97.5	99.7	100

6 主要訓練項目

消防局	消防署
<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急消防援助隊受援体制の検証 ・ 方面本部（署）との遠隔制御局等による情報受伝達 ・ 部隊運用管理 ・ 千葉県災害情報共有システムによる被害状況等の集約 ・ 本部員会議での情報共有及び方針決定 ・ 消防団との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況による部隊配置の検討及び指示 ・ 卓上型固定移動局等による対策本部への情報伝達 ・ 活動隊及び資機材の増強 ・ 千葉県災害情報共有システムへの被害情報の入力 ・ 方面本部員会議での情報共有及び方針決定 ・ 消防団との連携

7 訓練の様子

【消防対策本部統制部の様子】



【本部員会議の様子】

